

国語プリント No. ( )

配布日 月 日 曜

年 組 番 名前

## 2分間スピーチ

授業で数名ずつスピーチをおこなう。クラス全員の前で声を出すことにより、次のことと身につけるねらいがある。

### (ア) ねらい

発声 声を数十人に聞こえるように発することができるようにする。  
構成 話の内容をまとめて、わかりやすく話すようにする。  
落ち着き メモを見ずに、人前でも一定時間話せるようになる。

これから的人生のうち、大勢の人数を前に話す機会がある。その時に初めて話すよりは、顔も見知った人の前であらかじめ練習すると思って、スピーチをしてみよう。

### (イ) 方法

ランダムにあてる。 1回に付き2分以内。 1時間に3～4名。  
3学期末まで続け、数回スピーチをする機会がある。  
1分45秒になつたら合図を送るので、その後20秒以内にやめること。  
1分45秒未満でやめた場合は、スピーチ回数に入れることにする。

### (ウ) 内容

基本的に自由であるが、思いつかない人は次から選んでみること。（スピーチの話出しだけ書く）

- 「私が勧める」は です。お勧めの点は2点あります。1点目は……
- 「私が将来なりたいものは です。その理由は2点あります。1点目は……
- 「私の高校生活をひとことで表すと です。その理由は2点あります。1点目は……
- 「私の将来したいことは です。どうしてそう考えたのか理由は2点あります。1点目は……

### (エ) フォーマット

ナンバリングとラベリングを使う。 ラベルは2つ。  
「えーっと」や「うーん」などなるべく発しない。

顔をみんなに向けて話す。

### (オ) 評価

スピーチ有効回数 スピーチの実動時間  
相互評価点数

- ・声の大きさや発音（滑舌）がよく聞き取れたか。
- ・話す速度は聞き取りやすいものであったか。
- ・わかりやすい内容だったか。
- ・聞いている人に視線を向けて話していたか。

